

サポートチームだより

「チーム」として取り組みを

～第2回十勝教育局部活動地域移行サポートチーム会議開催～

令和7年10月3日（金）十勝教育局において「令和7年度第2回部活動の地域移行に係る市町村サポートチーム会議」を実施し、十勝管内の進捗状況やこれからの取組について協議しました。会議では教育支援課 主査（地学協働） 有働 雅哉（=左下写真）が各市町村における取組の状況やこれからの取組方針等について説明を行いました。説明で有働主査は「地域移行（展開）を市町村が進めていく中で、当局でしっかりアイデアを出していき



担当からの説明を聞くメンバー



説明する有働主査

い」と述べました。また会議において「メンバーとしての役割について改めて検討し、より組織として取り組めるようにすべき」という意見が出るなど、より「チーム」としての取組を意識する機会となりました。チームリーダーの 次長 遠藤 新理 は「取組の充実が必要な市町村については「組織づくり」が必要であるため、そのサポートが重要」とし、これからの取り組みについての具体を示しました。

「準備から実践へとステージが変わってきた」

～令和7年度第2回部活動改革推進本部会議～

令和7年10月15日（水）「令和7年度第2回部活動改革推進本部会議」が行われました。この会議は学校教育監を本部長とし、本庁幹部職員や各教育局長らを参集者として行われ、今後の国や道の動向についての説明や各管内の取組状況などが報告されました。十勝教育局からは 教育支援課長 齊藤 真寛（=右写真）がオンラインで出席しました。会議では部活動改革推進課より「北海道部活動の地域展開に関する推進計画」の素案たたき台が示され、11月からパブリックコメントを募集するなどし、本年度中に推進計画を改定する予定との説明があり、また国の動向についても、これまでの実証事業が補助事業となることが概算要求で示されたなどの情報提供がありました。そのほか、各管内の取組状況について、空知、檜山、上川及び釧路から説明が行われ、「準備から実践へとステージが変わってきた」との話が出るなど、各管内において着実に取組が行われていることが報告されました。会議に出席した齊藤課長は「改革実行期間が設定されたことにより、ロードマップ作成等が有効になると感じた。各市町村が取組の方向性で困ることのないようサポートしていきたい」と今後の取組について述べました。



会議に参加する齊藤課長
（奥モニターは会議画面）

【発行・お問い合わせ先】
北海道教育庁十勝教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課
住所：〒080-8588 帯広市東3条南3丁目
電話：0155-26-9243 E-mail: tokakyo.kyouiku@pref.hokkaido.lg.jp